

令和5年度寄附者設定テーマ事業(第二次募集) 採択事業一覧

	テーマ	団体名	所在地	事業名	事業概要	支援額 (単位:円)	講評
1	ティーエスケイ情報システム株式会社寄附 ～子育てや社会教育の推進～	特定非営利活動法人 スペース	松江	就学援助世帯学習支援事業 (フリゼミ!・島根大学研究者有志・あったか元気便コラボ “ガンバレ!! 中学3年生「受験応援」企画”)	学習支援、生活支援、居場所の提供を行い、子どもの将来の自立を後押しすることで貧困の連鎖防止につなげることを目的とする事業。	500,000	・事業の目的・課題解決に向けての考えが確立している点を評価。 ・様々な人や機関を巻き込み、活動を継続していくことを期待する。
2	島根県電気工事工業組合青年部寄附 ～子育てや社会教育の推進～	特定非営利活動法人 中村元記念館東洋思想文化研究所	松江	中村元記念館ハイブリッド(双方向対話が可能なオンライン)配信事業	島根県出身の哲学者中村元博士の思想を、オンラインを利用した双方向型のイベントを通して世界中に発信していく事業。	300,000	・島根県由来の非常に価値ある人物の周知に尽力してきたことを評価。 ・オンライン環境を整え、今後も積極的にPR活動をしていただきたい。
3	和幸株式会社創立80周年、和幸情報システム株式会社創立35周年記念事業寄附 ～子育てや社会教育の推進～	特定非営利活動法人 未来創造プロジェクト	松江	ICTと地域スペース活用した子ども居場所づくり事業「カシマ電腦自学室」	長期休暇における子どもの居場所をつくるとともにICTを活用した多様な学びの機会を提供する事業。	200,000	・子どもだけでなく、働く世代の親たちが抱える課題解決に取り組んでいる点を評価。 ・子ども・親ともに安心できる環境づくりに貢献していただきたい。
4	環境の保全	島根半島四十二浦巡り再発見研究会	出雲	鹿島町御津小島さん展望場美化事業	高齢化の進む小島さん展望場周辺の環境を整備・美化し、訪問者のマナー向上・安全確保を目的とする事業。	200,000	・「自分たちがしなければ」という使命感の元、効率的な手法で事業に取り組まれる姿勢を評価。 ・貴重なジオサイトの環境を整えることで、今後不適切な利用がしづらい雰囲気作りに繋がることを期待する。
5	子育てや社会教育の推進	特定非営利活動法人 石西防災研究所	益田	家族と一緒に防災デイキャンプを体験する事業	親子で遊びながら、自然との付き合い方やいざという時のサバイバル技術を養い、家族の絆・防災力の向上を目指す事業。	215,170	・親世代の中でも自然の中での体験が少ない人が増えている中、親子型の取組みを実施している点を評価。 ・防災研究所だからこそ、身近な危険についても触れることができ防災につながる事業になることを期待する。
6	文化やスポーツの振興	特定非営利活動法人 くらしアトリエ	出雲	私設図書館「山の図書室」魅力アップ事業	私設図書館「山の図書室」の蔵書の充実を図り、ワークショップを開催することで、利用者の知的好奇心を深め、自己表現の場を創出することを目的とした事業。	100,000	・誰もが行きやすい身近な本屋さんとして「マイクロライブラリー」を設置した点を評価。 ・雲南市から出雲市に移転したことで、今後さらに活動の輪を広げていただきたい。
7	科学技術の振興	特定非営利活動法人 おっちラボ	雲南	高校生がGISを使って町と里山を見える化する!	地理情報システム(GIS)を活用した里山の課題や資源を可視化する活動に、ITに強い地元高校生とともに取り組み、地域課題解決を促進する事業。	500,000	・地元の高校生の部活動の一環として共に活動を続けていくことを評価。 ・しっかりとしたエビデンスや経験に基づいており、今後の課題解決も期待できる。
8	科学技術の振興	特定非営利活動法人 江の川鐵道	邑南	旧JR三江線メタバス構想推進事業	廃線となった三江線の技術・歴史を適切に記録し、将来的にメタバス空間に「三江線鐵道博文館(仮)」を展開することで、ファンの増大、地域への経済波及効果を目指す事業。	500,000	・現在全国各地の廃線の危機にある路線にとって、今後の夢を持たせる計画である点を評価。 ・遠くて気軽に訪れることができない方も、インターネットを通して島根を身近に感じていただきたい。
9	フリーテーマ	特定非営利活動法人 あしぶえ	松江	地域の未来を創る人材育成事業 しいの実シアター未来学校「劇で遊ぼう！」	子ども達が劇創りを通して、自由楽しく発想・工夫し、失敗をしながら仲間と力を合わせ一つの作品を創り上げていくことで、自分への自信に繋げる事業。	340,000	・リピーターの子も達も多く、活動の輪が広がっている点を評価。 ・大人が先手を打つのではなく、子ども達が「失敗」から学ぶ機会を作っている点に期待が持てる。